

経営比較分析表（令和5年度決算）

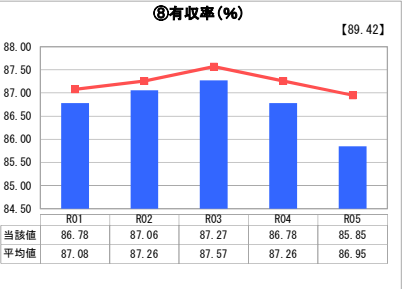
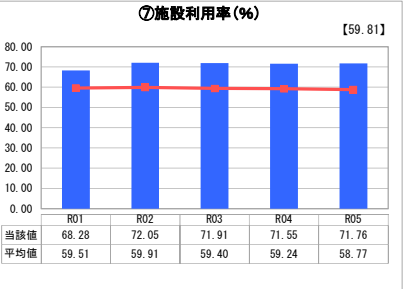
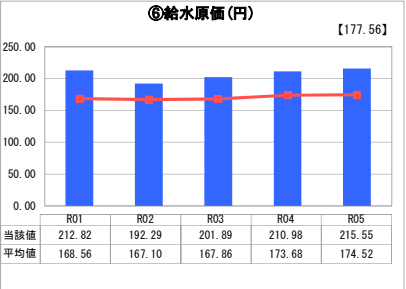
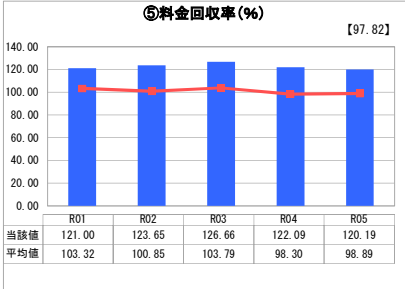
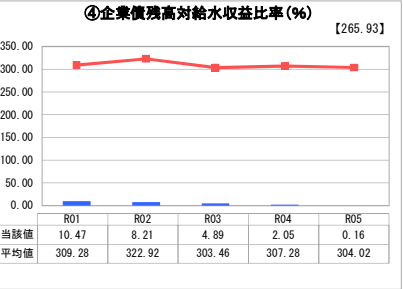
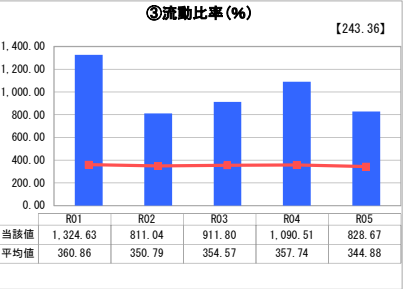
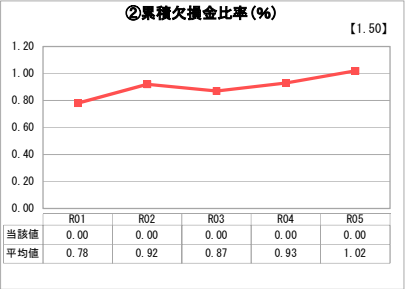
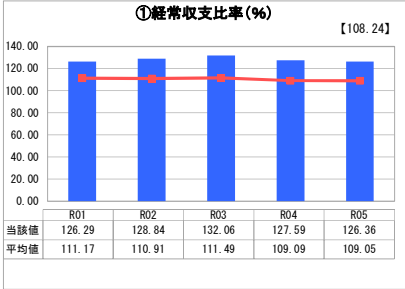
宮城県 名取市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	96.14	99.78	3,333	

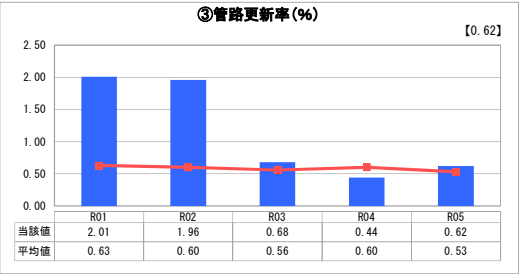
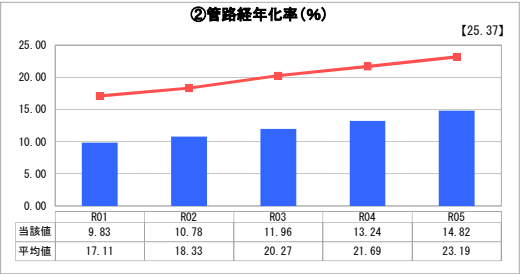
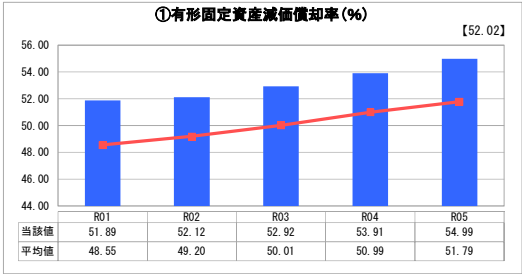
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
79,720	98.18	811.98
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
79,493	98.17	809.75

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①前年度と比べ、水道事業収益・水道事業費用（受水費）ともに増加していますが、水道事業費用の増加割合が大きいため、経常収支比率は低下しました。しかし、数値としては100%及び類似団体平均を上回っており、健全な経営状況であるということが出来ます。

②累積欠損金比率について、本市では欠損金残高がないため、発生していません。

③流動資産（現金預金）・流動負債（未払金）とも前年度から増加しました。流動比率は望ましいと言われる200%を上回っており良好な数値です。

④新規の企業債は発生せず、例年通り企業債残高対給水収益比率は減少傾向にあります。

⑤料金回収率は100%及び類似団体平均を上回っており、適切な数値です。

⑥配水量の多くを受水で賄っていることから、給水原価は類似団体平均と比べ、高い数値となっています。

⑦施設利用率は類似団体平均を上回っています。遊休状態にある施設が少なく、施設が効率的に稼働していることがわかります。

⑧地下漏水の増加に伴い、有収率は前年度と比べ低下しました。引き続き、老朽給水管等の更新や漏水調査を行うことで有収率の向上に努めます。

2. 老朽化の状況について

①資産の老朽化が進んでいることから、有形固定資産減価償却率は上昇傾向にあります。「アセットマネジメント」における更新需要に基づき、計画的な資産の更新を行います。また、施設状況を的確に把握したうえで、日常的な修繕等による資産の延命を図ります。

②管路経年率は上昇傾向にあります。昭和50年前後に布設された水道管が法定耐用年数を迎えることが原因と考えられます。類似団体平均と比べて下回っていますが、引き続き、市内全域の配水管更新事業を行っていきます。

③管路更新率は類似団体平均を上回りました。今後も引き続き「アセットマネジメント」における更新需要に基づき、計画的に更新を行います。

全体総括

各種指標を通じ、全国平均・類似団体平均と比べても健全な経営状況であると捉えています。今後も漏水調査を行いながら、管路の更新・耐震化を進めることで、有収率の向上及び経営基盤の強化を図ります。また、老朽化が進む施設の更新のための財源確保のため、効率的な経営に努めてまいります。